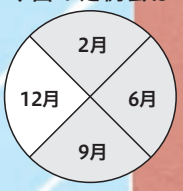
今回の定例会は



ロクマル

市議会だよりさいたま

Saitama City Council No.76 2019.2.1

ロクマル＝60　60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。

www.city.saitama.jp/gikai/index.html

あなたも行ってみたくなる!?

さいたま市議会 議会棟探検

さいたま市議会ならではのレアな情報をお届けします。

あなたも行ってみたくなる!?

さいたま市議会 議会棟探検

市役所へは行ったことがあるけれど、市議会には行ったことがないという人も多いのでは?議会棟にはさいたま市議会ならではの、あんなもの、こんなものがいっぱい。今回はレアな情報も満載です。さあ、さっそく探検してみましょう。

START!

登退庁盤

どの議員が登庁しているか一目でわかるぞ

登庁している議員名、開催中の会議名が表示される65インチのデジタルディスプレイ。
議会棟正面玄関、エレベーター前などに設置。

お宝情報

ロクマルの表紙ギャラリーも見られるのよ。

11月にリニューアル!
議員の登退庁情報だけでなく、会議予定やさいたま市議会に関する各種お知らせも表示。

議会局

市議会の運営をサポートするための事務局。会議予定など議会に関するお問い合わせは議会局へ。

議会図書室

蔵書数 約6,000冊

議員の調査研究活動の要として設置されておるのじゃ

市民も利用可能で本会議や委員会の会議録も閲覧できるんだね

トレジャーロード

通路やロビーには多数の絵画を展示

わあ、まるで「議会美術館」ね!

文豪の多い鎌倉と並び称され「鎌倉文士に浦和画家」という言葉が生まれたほどじゃ

どうじゃ、さらに市議会を知りたい者には最後に秘密の紋章を授けよう!

秘密の紋章

みんなも見においでよ!

これで議会棟マスター!

GOAL!

お宝情報

議場に盆栽なんて、さいたま市議会ならではね。

議長席の横には盆栽!

代表的な五葉松や真柏のほか、季節の移ろいを感じさせるモミジや実もの盆栽など、定例会ごとに種類を変え、議場を彩る。

傍聴席 84席

当日の受付で本会議や委員会は傍聴可能。子ども連れの傍聴も認められている。

対面式演壇と大型スクリーン

一般質問などを行う際は、議員と市執行部が向かい合う形で議論。質問者が傍聴席に背を向ける形となるため、正面からの姿を大型スクリーンに映し出す。写真やグラフなどの資料映写も可能。

委員会室・全員協議会室

傍聴席 各室5席

第1から第7委員会室まであり、教育や福祉、まちづくりなど分野ごとに分かれて審査。会期中は5つの常任委員会が同時に開催される日も。全員協議会室では主に予算委員会や決算特別委員会を開催。

お宝情報

ひな人形や五月人形など、季節に合わせて入れ替えも行っているのよ。

議場前のホールには岩槻人形を展示!

クローズアップ

平成30年12月定例会（11月28日～12月21日／会期24日間）

議案第155号　さいたま市区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

大宮区役所を移転する議案を可決

大宮区役所の位置を、同区吉敷町１丁目に本年５月７日に移転するための条例改正案が可決されました。新庁舎には、区役所のほか、図書館、建設事務所などをはじめ、カフェ・コンビニエンスストアなどが設置される予定です。

大宮区役所新庁舎（イメージ図）

議案第162号　さいたま市六日町山の家条例を廃止する条例の制定について
委員会提出議案第2号　議案第162号「さいたま市六日町山の家条例を廃止する条例の制定について」に対する附帯決議

六日町山の家の廃止が決定

建物の老朽化や耐震性能などを勘案・検討した結果、六日町山の家を廃止する条例案が可決されました。本議決に伴い、引き続き友好都市としての交流を推進し、時代に即した新しい協働・連携の形を確立することを強く求める附帯決議案が市民生活委員会から提出され、同じく可決されました。

議案第199号　平成30年度さいたま市一般会計補正予算（第8号）
委員会提出議案第3号　議案第199号「平成30年度さいたま市一般会計補正予算（第8号）」に対する附帯決議

学校工事の遅れに対応するための補正予算議案を可決

美園南中学校建設工事および仲町小学校校舎増築工事が中断していた件に関し、総合政策・文教・まちづくり委員会連合審査会において、調査が行われました。また、市長から追加提出された、工事完了までの間に使用する教室の改修費用などを含む補正予算議案が可決されたのち、予算委員会からは、工事の確実な履行管理や生徒の安全確保をはじめとした様々な課題への対策を迅速かつ的確に講ずることを強く求める附帯決議案が提出され、同じく可決されました。

議員提出議案第17号　高経年化した原発の運転期間の延長について慎重な対応を求める意見書　ほか４議案

市議会から国へ意見書を提出

議員から以下の意見書案が提出され、可決されました。意見書は、国会や関係行政庁に提出されます。

- 高経年化した原発の運転期間の延長について慎重な対応を求める意見書
- 柔軟仕上げ剤等に含まれる香料の成分表示等を求める意見書
- 災害関連義援金の差押え等を禁止する恒久法の制定を求める意見書
- 認知症施策の推進を求める意見書
- 被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

12月定例会で審議された議案

▶市長提出議案49件、議員提出議案5件、委員会提出議案2件／合計56件

このほかの議案などの審議結果は、さいたま市議会のホームページをご覧ください。　さいたま市議会　検索

議員のQ&A 市のA

12月定例会「一般質問」ダイジェスト

一般質問

16人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

質問者

神坂達成／都築龍太／小川寿士／金井康博／武山広道／吉田一志／大木　学／守谷千津子／石関洋臣／浜口健司／小柳嘉文／冨田かおり／土橋勇司／川村　準／井原　隆／吉田一郎

市の政策・行財政

公園への防犯カメラ設置 大阪市方式を導入しては

Q 大阪市では、公園内の自動販売機設置業者が防犯カメラの設置費用なども負担する条件で公募を行い、市の負担なく防犯対策につなげている。本市でも導入すべきでは。

A 防犯カメラは都市公園施設および公園周辺における犯罪行為の抑止や公園財産の保全が期待できることから、プライバシーの保護を図りながら、大規模な公園などへの設置を優先的に検討していく。自動販売機の設置要件として防犯カメラを併設させることは、イニシャルコストやランニングコストを要さず公園内に防犯カメラの設置が可能となるほか、自動販売機の破壊行為を防止する効果も期待できることから、今後検討していく。

自動販売機に防犯カメラを併設することで防犯対策や財産保全の効果が期待できる

建設業者の適正な選定のため 入札制度の見直しを

Q 本市の入札における最低制限価格および調査基準価格の適用上限は予定価格の90％であり、上限同額での入札が増えている。適切に積算しない企業を排除するため上限を95％に引き上げては。

A 本市の建設工事における最低制限価格制度および低入札価格調査制度は、29年10月に「中央公契連モデル」に準拠し予定価格の90％と設定するなどの改正を行った。30年9月末時点での90％案件は、制度対象工事のうち16％であり、ダンピング受注防止の観点などからも上限引き上げについて適切な対応をしていきたい。また、総合評価方式は技術資料の作成など入札参加者の負担が大きいことから、特別簡易型の導入に向け準備を進めていきたい。

新制度の積極的活用で 住宅セーフティネット構築を

Q 住宅困窮者の受け皿となる登録住宅の確保のため、具体的な目標設定に加え、国の支援メニューを一体的に運用することで、民間住宅を活用した住宅セーフティネットを早急に構築すべきでは。

A 改正「住宅セーフティネット法」が施行され、本市では住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度を開始した。また、連帯保証人の確保が困難な方への家賃債務保証料の補助制度を創設したが、11月末現在、補助対象となる住宅の登録には至っていない。債務保証料と家賃の補助を併せて行うことは登録住宅を増やすのに有効であり、導入の検討を

進めている。今後は登録住宅の具体的な目標を定め、効果的に施策を展開していきたい。

毎年黒字の水道事業 水道料金は引き下げるべき

Q 本市の水道事業経営は整備が計画通りに進む中、毎年50億円以上の純利益を上げ財政的にも安定している。周辺の自治体よりも高い水道料金は引き下げるべきでは。

A 本市の水道事業は、人的コストの抑制など経営基盤の強化に取り組んできた。しかしながら、今後は老朽施設の更新・改良や耐震化などに多額の費用が見込まれ、中長期的な視点に立った安定的な財政運営が求められる。また、水道料金の設定については、施設の更新や耐震化対策などの取り組みに係る経費を負担していただいていることによるものであり、適正なものと認識している。安心・安全な水を市民の皆様に提供するため、財源の確保は必要不可欠であり、料金の引き下げは考えていない。

九条俳句不掲載の「違法性」 市と教育委員会の受け止めは

Q 憲法第九条を詠んだ俳句が公民館だよりに不掲載とされたことに対し、埼玉弁護士会と社会教育団体が「違法性を解消すること」を求めた。市と教育委員会はどのように受け止めているのか。

A 埼玉弁護士会からの勧告や社会教育団体の声明については、それぞれの立場からの貴重なご意見であり、その重みを認識している。これまでも俳句の作者や支援団体の皆様と話し合いを重ねてきたところであるが、俳句の掲載についての考えに隔たりがあり、現在、司法による解決を求めて双方が上告しているところであることから、裁判の進展を見守りたい。

危険ブロック塀対策 補助制度創設に向けた検討を

Q 民地の危険ブロック塀の改修および撤去のための補助制度については、政令指定都市20市のうち18市が創設済み、または創設予定の状況にある。本市においても制度創設に向けた検討を求める。

A 本市としても、他の政令指定都市の状況や国の動向を注視しながら、ブロック塀の安全確保のための対策について協議し、補助制度創設に向けた検討を行うこととした。現在、補助対象とするブロック塀の範囲や補助金の事業規模、市民の利用しやすさなどを精査している。通学路に限定することなく、広く市民が往来する公道などの安全確保が図られる制度にしたいと考えており、31年度からの実現に向けて、スピード感を持ってしっかりと制度設計を行っていきたい。

学校敷地のブロック塀安全対策の様子
今後は民地への対策を助成する制度も必要

荒川氾濫時の避難体制 隣接区と連携した取り組みを

Q 荒川洪水時の被害想定では南区の南西域の多くが浸水する。指定避難所だけで対応できるのか。隣接区と連携した広域避難に早急に取り組むべきではないか。

A 昨年度、西区をモデルに広域避難先となる隣接区の緊急避難場所を、自治会ごとにあらかじめ特定する取り組みを実施した。今年度、桜区と南区においても同様の取り組みに着手し、南区では、同区内の高台の安全区域にある指定避難所に避難していただくこととし、過度に偏ることのないよう自治会ごとに指定避難所案を示したところである。なお、避難生活を送るためのスペースが不足する場合には、関係機関と連携し、二次避難所や隣接区の指定避難所などへ移動していただくことを想定している。

福祉・保健・医療

制度改正を行い仕事中も訪問介護の対象に

Q 常に介護を必要とする重度障がい者が自宅で仕事を行う場合、その間は重度訪問介護が受けられない。仕事中も訪問介護が受けられるよう制度改正を行うべきでは。

A 重度訪問介護を利用する重度障がい者の場合は、就労しているか否かにかかわらず、日常生活に必要な支援が必要不可欠なものであると考えている。このことは、本市に限らずどの地域でも同じ状況にあることから、国の責任において対応すべきと認識しており、引き続き国へ要望していきたい。また、市の単独事業化については、対象者、要件、補助額および実施時期など、現在、具体的な検討を行っている。スピード感を持って対応するためにも、国への要望が実現されない場合には市の単独事業として実施することも検討していきたい。

教育・文化

猛暑による熱中症予防のため学校体育館にエアコン設置を

Q 昨年、学校体育館で熱中症により救急搬送された人数が過去最高となった。災害時、避難所にもなる学校体育館にエアコンを設置することは急務と考えるが、市の見解は。

A 近年の夏季における気温上昇は異常であり、エアコン未設置教室などへの設置の必要性は認識しているが、財政的負担も大きく、財源の確保が重要と考える。熱中症対策としての体育館などへのエアコン設置は、発災時の避難所機能としても有益であり、国庫負担などの支援を欠かすことができない旨の要望を国に対し行ったところである。緊急防災・減災事業債も対象となるが、学校施設の整備には文部科学省の交付金を活用することが重要である。教育環境および避難所の機能充実のため、今後も国と連携し検討していきたい。

グラウンドの人工芝化で地域への効果も期待

Q 人工芝化により、安全性向上や環境面での効果が期待される。本市でも浦和南高校で28年に導入したが、現状と成果、また市立浦和高校での導入について、見解を伺う。

A 浦和南高校においては、人工芝化により体育の授業をはじめ教育活動に良い影響があり、安全性が高まったとの評価を得ている。部活動においても、サッカー部が全国大会への出場を決めるなど好結果を残している。また、グラウンド開放についても様々な用途で貸出件数が年々増加し、地域連携が進んでいる。さらに、人工芝化による土埃の飛散防止効果もあり、地域との信頼関係にも良い影響があったと考える。市立浦和高校への導入については、浦和南高校での成果をさらに検証し、検討していきたい。

県内の公立高校で初めて導入された浦和南高校の人工芝グラウンド

通学路への防犯カメラ一刻も早い設置を

Q 新潟市で起きた女児誘拐・遺体遺棄事件を受け、本市の通学路にも防犯カメラを設置すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 通学路に関しては、毎年実施している安全点検に加え、昨年6月に国から通知された登下校防犯プランに基づき、教育委員会を中心に学校、警察、道路管理者などと合同点検を実施している。合同点検を行う中で、従来の安全対策では対応できない箇所も確認され、そのような場所には防犯カメラが有効な手段であるとの議論が

なされた。今後、関係機関と協議を行い、設置基準などの課題を整理し、設置への検討を進めていきたい。

通学カバンの軽量化 各学校に徹底してもらいたい

Q 中学生の通学カバンがあまりにも重い。「置いて帰っても良い物リスト」をつくるなど、少しでも通学カバンを軽量化できるような工夫を各学校に徹底してもらいたい。

A 昨年9月に国から児童生徒の携行品に係る配慮についての通知があり、教育委員会では各学校に周知し、適切な配慮をするよう改めて指示したところである。しかし、現在も重い荷物を持ち歩く状況があることから、今後も校長会などにおいて、置いて帰っても良い物をリスト化するなどの、各学校が取り組む児童生徒の登下校時の負担軽減を図る具体的事例について情報共有し、適切に配慮するよう呼び掛けていく。

教科書などの携行品が過重になることで身体の発達への影響などを懸念する声も

経済・産業

大崎の直売所には より多くの地元農産物を

Q 大崎に整備予定の農業交流施設内の直売所。周辺農家のつくる地元農産物を、いつでも気軽に出荷できる仕組みや体制づくりが必要と考えるが、市の見解は。

A 大崎農業交流施設は、周辺の観光農園などとも連携しながら、都市住民と農の交流を推進し、都市農業の振興に資するため整備するものである。直売所については、いつでも安全・安心に購入できるよう、市内産の農産物や加工品などを販売し、地産地消推進のために欠かせない施設と認識している。その運営については、今後、農業者から幅広く意見を聴き、必要な条件や仕組みを定め、より多くの市内農業者が出荷できるよう検討していきたい。

まちづくり・環境

埼スタ隣の大門上池調節池 立地を生かして有効活用を

Q 美園地区の大門上池調節池は、埼玉スタジアムに隣接する立地を生かし、イベントやスポーツなどで有効活用すべきと考える。これまでの経緯や今後のスケジュールは。

A 大門上池調節池は、綾瀬川の水位が上昇した際の一時的な貯留施設であるが、立地も含め貴重なオープンスペースとしても考えている。「みその都市デザイン協議会」での議論を踏まえ、その利活用について本市から県へ事業提案を行い、採択を受け、昨年3月に同協議会において美園スタジアムタウン河川空間活用計画が策定された。今年度は、施設の機能や維持管理面などを考慮しながら、スポーツ活動やイベントの実施などが可能な施設整備を検討しており、調節池の底面整備を目指していきたい。

オリンピックに向けて スケートパークを整備すべき

Q 東京2020オリンピック競技大会の正式種目となったスケートボード。競技場（スケートパーク）整備を行う必要があると考えるが、市の見解を伺う。

A 本市では、スケートボードのように広大なスペースを必要としない都市型スポーツの振興に取り組み始めたところであり、スケートボードが正式種目に採用されたことから、身近な場所で練習できる施設への期待が高まることも予想される。現在、スケートボードのできる環境としては緑区の新

見沼大橋下のスポーツ広場があるが、今後、本市のスポーツ施設の整備計画を策定する中で、スケートパークの必要性についても検討していく。

大宮駅の西側にモノレール導入の検討を

Q 旧市の時に大宮～水判土間でモノレール導入の計画があった。東西交通大宮ルートの大宮駅以西の対象として、また交通手段として検討すべきでは。

A 合併以前には複数の都市モノレール導入が検討されていたが、採算性などの課題から実現には至らなかった。東西交通大宮ルートは、環境負荷の軽減や自動車交通からの転換など、諸課題に対応可能な交通手段として*LRTを前提に検討を進めており、モノレールについては高額な建設費や道路幅員の確保などの課題があると考えている。現在、地域公共交通網形成計画を策定中であり、その中で市内公共交通ネットワークについて検討していきたい。

盆栽踏切を拡幅し児童生徒の安全を確保すべき

Q 盆栽踏切（北区盆栽町）は、通学時間帯に児童生徒が自動車と接触する危険のある狭い踏切である。踏切の幅を広げ歩行空間を拡張すべきと考えるが、見解を伺う。

A 当該踏切は通学路に指定されているが、歩行空間が狭いことなどから、早期に拡幅整備が必要であり、暫定整備として28年度にグリーンベルトを設置した。その後、踏切の拡幅に向け鉄道事業者と協議を進めたところ、踏切の外側に新たな道路用地の取得が必要となったことから、地権者と交渉を進め、今年度、その用地を取得したところである。今後は、早期の工事着手に向け、鉄道事業者とスピード感を持って協議を進めていきたい。

武蔵浦和駅周辺の用地を確保し過大規模校の解消を

Q 武蔵浦和駅周辺の学校は大規模化・過密化で教育環境の格差拡大が深刻である。第7－1街区などの用地を確保し、学校を建設すべきと考えるが、見解を伺う。

A 都市化が進んだ地域では新たな学校用地の確保が難しく、過大規模校を直ちに解消することは困難であるため、施設整備や人的支援などを実施してきた。今後も関係部局と連携しながら新たな学校用地の確保について検討するとともに、児童生徒がより良い環境の下で学校生活を送ることができるよう、必要な教育環境の整備推進に努めていきたい。第7－1街区については、現在、権利者や住民の方々のご意見を聞きながらまちづくりの取り組みを行っているところであり、今後もその動向を見守っていきたい。

高層マンションが林立する武蔵浦和駅周辺
均衡の取れたまちづくりが求められる

教育センター跡地の防災公園地域の要望を踏まえた整備を

Q 県総合教育センター跡地での防災公園の整備に当たっては、地域の要望をできる限り反映させるべきと考える。また、消防分団車庫の設置要望について、市の見解を伺う。

A 同跡地については、防災公園としての整備に向け基本設計を行っており、地元住民との意見交換会も開催している。要望のあった公民館、図書館、応急給水施設の設置については、面積要件や防火樹林帯の整備など本来の目的と異ならぬよう整理する必要があるが、関連部局と連携し、利活用について検討していきたい。消防分団車庫については、既存の車庫が老朽化し、敷地も狭隘であるため、用地の一部を活用できるよう協議を進めていく。

＊LRT（Light Rail Transit）
従来の路面電車に比べ、スピードや輸送力などの機能を向上させた次世代型路面電車システム

浦和のまちづくり 将来ビジョンを構築すべき

Q 浦和地域には旧市時代のまちづくり計画しかない。まちづくりの将来像を描いたマスタープランの構築を進めるべきではないか。

A 浦和駅周辺地区については、鉄道高架化や幹線道路の整備のほか、市街地再開発や東口駅前広場の整備など総合的なまちづくりを進め、東西市街地の再構築、行政機能や交流機能の充実を図ってきた。今後も魅力的であり続けるためには、歴史・文化的施設や商店街のような地域のポテンシャルなどを再認識する必要があると考えており、今年度は土地利用の動向を取りまとめるとともに、活用が期待される地域資源の抽出を行う予定である。本地区の特性も踏まえ、浦和駅周辺地区のビジョン構築に向けた検討を進めていきたい。

公民連携による保全活用で 別所沼公園をより魅力的に

Q 多くの人に親しまれている別所沼公園をより魅力的な公共空間とするために、行政と市民・団体などが協働で公園のグランドデザインを策定すべきではないか。

A 別所沼公園を地域に愛される公園にしていくためには、自治会や市民団体などのボランティアで構成された組織の方々に、積極的に公園美化活動などに参加していただき、市との協働による管理や活用を行うことが大切と考えている。別所沼公園には、管理や活用に参加していただいている様々な団体があり、今後はこれらの団体と公園管理者との協働、または役割分担について協議する機会を設けていきたい。

埼大通りの倒木や隆起など 抜本的な対策を

Q 国道463号線（埼大通り）のケヤキ並木の倒木対策や根上がりによる歩道の隆起への対応状況は。また、渋滞解消や道路拡幅、景観問題など抜本的対策に関し、見解を伺う。

樹木医による街路樹診断を行い倒木の危険のあるケヤキを判定

A 倒木対策については、その危険性のある樹木の伐採を実施するとともに、根切りにより舗装の段差を解消する工事を進める一方、経年変化に備えた長期的な対策についても検討していきたい。渋滞対策では、現在、道場三室線や大谷場高木線、下大久保交差点の改良などの事業を進めており、事業の完成により渋滞が緩和するものと考えている。歩道の拡幅やケヤキの植え替え、電線の地中化などについては、将来的な課題として、今後も検討を進めていきたい。

桜区と中央区の新たな「足」 今後の課題やスケジュールは

Q 桜区と中央区をつなぎ、新たな市民の「足」となる交通インフラの導入について、今後の取り組みや課題、スケジュールについて伺う。

A 両地区の地域組織によるルート案やアンケート調査結果を基に、両地区をつなぐ複数のルート接続案を提案したところであり、運行経費などを勘案した結果、現在は乗合タクシーの運行を目指し検討が進められている。今後、ルート案の絞り込みなどの後、警察や道路管理者、バス事業者などとの協議を進めていく。市としては、停留所設置の同意を得るなどといった地域活動をサポートするとともに、需要調査により収支率を確認のうえ、実証運行に向け手続きを進めていき、順調に行けば2020年春の運行を想定している。

空き地のままの与野中央公園 一刻も早く整備を

＊**Park-PFI制度**
飲食店、売店などの公園利用者の利便性を向上する公園施設の設置と生じる利益を活用してその周辺の園路などの整備・改修を一体的に行う事業者を公募により選定する「公募設置管理制度」

Q 約30年にわたり広大な空き地のままとなっている与野中央公園。公民連携のスキームを活用したうえで、いつ頃事業者選定をし、公園整備に着手する予定なのか。

A 都市公園法が改正され*Park-PFI制度が創設されたことを契機に、本市でも都市公園の整備や維持管理における公民連携事業導入の検討を始めている。民間事業者からの事業提案を受けるためには、まず道路や橋梁、下水道といった公共施設の整備計画を定める必要がある。これらの計画策定と並行し、公募条件についても検討を行い、32年度の早い時期に公募を開始することができるよう取り組んでいく。

早期整備が望まれる本町通り進捗状況は？

Q 本町通りは歴史街道の名残をとどめる一方、歩道も狭く、沿道には建売住宅が増えるなど早期の整備が望まれている。本道路を中心としたまちづくりの取り組み状況は。

A 昨年度、与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会と本町通りの課題解決に向けた検討を行った。今年度は、歩行空間を確保する交通社会実験に向けた検討を進め、道路や交通管理者、バス事業者などと調整を行っている。実験を多くの方に体験してもらったうえで検証を行い、まちづくりを進めていきたい。なお、当地区では都市計画法第53条にある審査基準に基づき建築を許可する現状にあるが、実験結果が今後の都市計画道路の幅員などを検討する一つのデータになると考える。

昨年開催されたワークショップまち歩きを通して課題の抽出などを行った

さいたま市議会からのお知らせ

オープン委員会を開催しました

30年11月30日に議会改革推進特別委員会のオープン委員会を開催しました。今回は、「議会基本条例を取り巻く現状と課題及び今後の展望」をテーマに、株式会社地方議会総合研究所代表取締役の廣瀬和彦氏にご講演いただきました。その後、議会基本条例のあり方や今後の地方議会に求められるものなどについて、参加した議員や市民の皆さんと講師との間で活発な意見交換が行われました。

「ロクマル」デイジー版・点字版を発行しています

視覚障がいのある方に市議会の活動状況をお伝えするため、「市議会だよりさいたま（ロクマル）」の内容をCDに音声収録したデイジー版を発行しています。また、点字版も発行していますので、ご希望の方は秘書課（Tel.829-1748 Fax.829-1984）までご連絡ください。

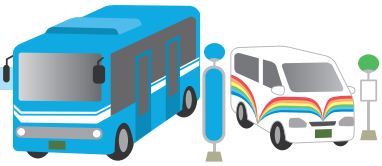
傍聴の手話通訳・要約筆記を行っています

聴覚障がいのある方が本会議・委員会を傍聴する場合、事前予約により手話通訳者または要約筆記者を配置します。ご希望の方は傍聴予定日の7日前までに議事課（Tel.829-1753 Fax.829-1984）までご連絡ください。

ロクマル
No.76 2019.2.1 市議会だよりさいたま 編集・発行>>さいたま市議会 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号 Tel.048-829-1748 Fax.048-829-1984

ロクマル キーワード
Keyword

12月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『コミュニティバス・乗合タクシー』

人とまちをつなぐネットワーク

人口減少、少子高齢化が進む中、公共交通機関の担い手不足などにより、公共交通ネットワークの縮小やサービスの低下が懸念されています。その一方で、住民にとって日々の生活の移動手段として地域公共交通の重要性は増しています。さいたま市では路線バスとコミュニティバスなどの相互が持続可能な交通体系を構築するため、コミュニティバスや乗合タクシーを「路線バスが不十分な地域へ導入する補完交通」として位置付け、運用を行っています。

住民自らが「守り」「育てる」地域公共交通

現在、コミュニティバスは西区、北区、見沼区、桜区、南区、岩槻区で運行し、また地域ニーズや道路状況なども考慮して乗合タクシーも導入されています。地域公共交通の充実には地域の方々、市、事業者の協働で取り組むことが重要であり、ニーズの把握や運行計画の検討など地域の方々の役割は重要なものとなっています。また、継続的な運行には一定の収支実績が求められており、地域における積極的な利用や利用促進に向けた取り組みも求められます。

編集後記

議会広報編集委員会

「鎌倉文士に浦和画家」という言葉をご存じでしょうか。昭和初期には多くの画家が浦和に住み、文豪の多い鎌倉と並んでこのように称されたそうです。今号のトピックスでもご紹介したとおり、議会棟内には至るところに絵画が展示されていますが、主に旧浦和市時代に寄贈された趣深い作品ばかりです。そのほかにも、岩槻人形や盆栽など、議会棟内には本市ならではのものが展示されています。まもなく2月定例会が始まりますが、議会にお立ち寄りの際はぜひご鑑賞ください。

［委員長］新藤信夫　［副委員長］高野秀樹
［委員］西沢鈴子　大木　学　新井森夫　浜口健司
稲川智美　池田麻里　武山広道　土井裕之
島崎　豊

さいたまDiary

りすの家（見沼グリーンセンター）

シマリスは冬の間、地中に巣穴をつくり冬眠するそう。でも、ここではごはんの時間になると出てくる子たちもチラホラ。春になれば活発に動き回る姿がいっぱい見られるんだって。楽しみだなぁ。

アクセス　土呂駅より徒歩約10分

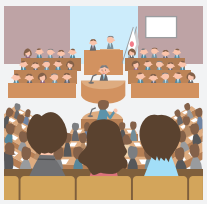
今号の表紙の場所は 北区

次の定例会は
2月6日～

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課（Tel.829-1753）までお問い合わせください。

傍聴

本会議は当日の受付で傍聴できます。開催当日、議会棟3階の議場ロビーまでお越しください。



インターネット中継

会議の模様をライブ配信（生中継）・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも！

テレビ番組

「ようこそさいたま市議会へ」テレビ埼玉
平成31年3月24日（日）午前9時30分～ 放送予定
過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

さいたま市議会 検索 市議会のくわしい情報は、さいたま市議会のホームページをご覧ください。

この議会広報紙は597,300部作成し、1部当たりの作成経費は9円です（企画編集の経費を含みます）。